

再評価結果（平成21年度 事業中止箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道380号 <small>おだ</small> 小田バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	愛媛県
起終点	自：愛媛県喜多郡内子町日野川 至：愛媛県喜多郡内子町大平	延長	5.7km		
事業概要：一般国道380号は八幡浜市を起点とし、大洲市、喜多郡内子町を經由し、上浮穴郡久万高原町で一般国道33号に接続する、延長約82kmの幹線道路である。小田バイパスは、幅員狭小、線形不良区間の解消のほか、地域生活圏の連携強化、物流の効率化、災害時の緊急輸送の確保を目的とした、延長5.7kmの事業である。					
H6年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H7年度用地着手	H7年度工事着手		
全体事業費	89億円	事業進捗率	29.4%	供用済延長	1.3km
計画交通量	900台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体)	総便益 (残事業/事業全体)	基準年 平成20年	
	(残事業)	55/86 億円 事業費：55/86億円 維持管理費：0.67/0.86億円	20/22 億円 走行時間短縮便益：17/19億円 走行経費減少便益：2.7/2.8億円 交通事故減少便益：0.38/0.38億円		
感度分析の結果：残事業について感度分析を実施					
交通量変動：B/C=0.4 (交通量 +10%) B/C=0.3 (交通量 -10%)					
事業費変動：B/C=0.3 (事業費 +10%) B/C=0.4 (事業費 -10%)					
事業期間変動：B/C=0.3 (事業期間+10%) B/C=0.4 (事業期間-10%)					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（現道等に当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） ・災害への備え（緊急輸送道路として位置づけあり） ・地球環境の保全（CO2排出量の削減） <p style="text-align: right;">その他12項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
国道379・380号改良促進期成同盟会による事業促進の強い要望があるほか、地元も事業実施に協力的である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
平成17年1月1日、旧上浮穴郡小田町は郡を越えて旧喜多郡内子町、旧喜多郡五十崎町と合併し、新「内子町」が誕生した。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
平成19年度末の供用延長は、全延長5.7kmのうち1.1kmであり、平成20年度には0.2kmを供用する予定である。今後、橋梁やトンネル等のバイパス部分を残している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
橋梁やトンネル等によるバイパスが多く、多大な事業費を必要とするため大幅な進捗は見込めない。					
施設の構造や工法の変更等					
社会情勢の変化により、経済性を考慮すると、計画見直しの必要がある。					
対応方針	事業中止				
対応方針決定の理由	事業の投資効果、事業進捗の見込み、代替案立案の可能性等を総合的に判断した。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。